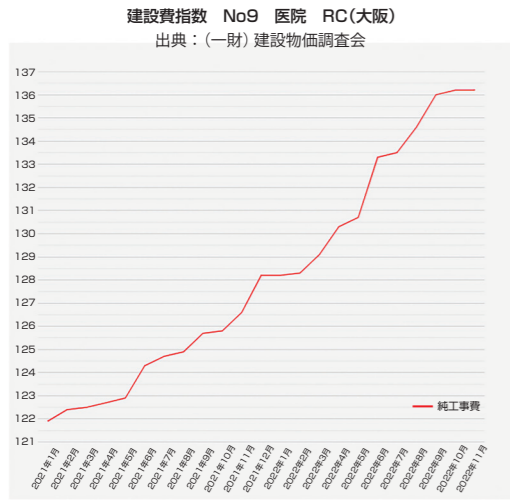


市立伊丹病院 統合新病院工事入札【費用編】

令和4年第5回定例会【12月議会】議案審査

3度目の入札に向けて



上がり続ける建設費

左図のように建設費は上がり続けています。2度目の入札でも工事費を上げたものの上昇スピードに追い付かない状態で、落札業者が出ませんでした。大阪関西万博会場の工事入札でもあったように、自治体の建設工事入札の入札不調が他所でも起こっています。

左図の指数解説 大阪圏域での病院建設純工事費の指数。2011年が基準年で指数が100となる。2021年1月が122で、2022年11月が136となっている。

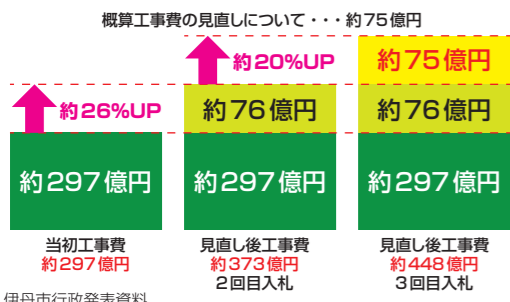
工事費は448億円に

現在の資材等の見積もりを積算し直したところ、3度目の入札では448億円となります。さらに今後の工期5年間で40億円増高することも考えられています。

財源は

2度目の入札に向けたときは、補助金等の増加で30億円、診療報酬の改定で90億円と120億円の財源を充てることとしていました。しかし更なる増高で競艇事業収入や基金(今まで貯めてきたお金)を充てることとしています。なお、令和4年度末で財政調整基金は約60億円・公債管理基金は約130億円の残高見込みです。このうち工期5年間で最大でも42億円を基金から充てる計画となるので、新病院建設による基金の枯渇はありません。

令和5年2月15日が入札予定です。公式LINEなどSNSでみなさまへお知らせいたします。



伊丹市行政発表資料

市立伊丹病院 統合新病院工事入札【工期編】

令和4年第4回定例会【9月議会】個人質問

工期は延長し当初の令和7年度中の開院から令和8年8月に

統合新病院整備工事の年度別予算額(補正後)

	令和4年(2022年)度			令和5年(2023年)度			令和6年(2024年)度			令和7年(2025年)度			令和8年(2026年)度			令和9年(2027年)度								
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
6月補正時変更工程																								
12月補正時変更工程(案)																								
《12月補正》全体工事費	令和4年度 年割額 2,568,890千円 割合 5.8% 進捗率 5.8%			令和5年度 年割額 10,127,127千円 割合 22.7% 進捗率 28.5%			令和6年度 年割額 15,241,748千円 割合 34.1% 進捗率 62.6%			令和7年度 年割額 11,389,397千円 割合 25.5% 進捗率 88.1%			令和8年度 年割額 4,510,525千円 割合 10.1% 進捗率 98.2%			令和9年度 年割額 819,485千円 割合 1.8% 進捗率 100.0%								
《6月補正》全体工事費	令和4年度 年割額 4,559,163千円 割合 12.2% 進捗率 12.2%			令和5年度 年割額 12,324,932千円 割合 27.3% 進捗率 90.1%			令和6年度 年割額 10,193,212千円 割合 22.7% 進捗率 99.3%			令和7年度 年割額 10,193,212千円 割合 27.3% 進捗率 90.1%			令和8年度 年割額 3,430,750千円 割合 9.2% 進捗率 99.3%			令和9年度 年割額 255,374千円 割合 0.7% 進捗率 100.0%								

円安・燃料高・物価高による伊丹の経済状況は

令和4年第5回定例会【12月議会】一般質問

経常利益の推移

令和4年7月～9月期 / 19.8兆円

令和3年7月～9月期 / 16.7兆円

平成30年4月～6月期 / 18.3兆円

財務総合政策研究所
12月1日発表
四半期別法人企業統計調査より

ウクライナ侵略発生後の日本企業の経営状況

世界的な円安・原油高・物価高は報道の通りですが、財務省発表の資料から昨年4～9月期の経常利益は過去最高であり、コロナ禍前の平成30年時を超えています。つまり、左記資料から、業績を上げている企業があることが分かります。一方で、費用増高により、経営が圧迫されている企業もあります。そして何よりも、家計での費用も増高し、生活が圧迫されている方もおられます。利益が上がっていることは、税金にも繋がるので、税金が上がるのであれば、その分を生活や経営で支援が必要となるところへの施策ができます。

伊丹の企業経営状況

伊丹商工会議所のデータを引用して伊丹市行政経済担当部局から答弁があり、令和4年7～9月期では、景気動向が「上昇」と答えた企業は16.2%と4～6月期とほぼ同程度、「横ばい」と答えた企業は61.9%と前四半期より10ポイント以上増加し、「下降」と答えた企業が22.1%と10ポイント以上減少しています。

これらの情報だけでは詳細な分析はできませんが、令和3年度の市民税収入は134億円とコロナ禍前の平成30年度と同程度にまでなっています。これから編成される令和5年度予算では、コロナ禍前を上回る市税収入を見込めるのではないかと推測できます。市税収入が上がるのであれば、それを市民サービスに充てることを進めていくことができます。

必要となる必要な支援を【こども医療費の所得制限撤廃に活用できないか】

伊丹市行政は、今まで財政健全化に努めてきており、裕福とはとても言えませんが、県内でも財政安定度は上位です。伊丹市行政は現在、市立伊丹病院統合新病院事業を進めています。伊丹の医療空白を作らないための事業であり、医療事業を市行政として進めている今だからこそ、「子どもたちの医療環境の充実」にも努めていくべきです。医療費無償化を所得制限なしにするには、中3までなら2億6千万円、高校生までなら4億6千万円の費用が必要となります。今こそ「子ども医療費無償化に舵を切ることができる時」と考えています。

令和5年2月13日に令和5年度予算案が公表されます。公式LINEなどSNSでみなさまへの情報提供を行います。

市立幼稚園のさらなる再編が必要ではないか

令和4年第5回定例会【12月議会】一般質問

令和4年度市立幼稚園・認定こども園(1号認定)入園願書受付状況【全10園分】 10月7日抽選終了時点

3歳児					4歳児					5歳児				
合計	定員	利用決定者数	待機者数	空き定員	合計	定員	利用決定者数	待機者数	空き定員	合計	定員	利用決定者数	待機者数	空き定員
240	221	221	34	19	510	265	265	245	26	560	297	297	263	26

令和4年度待機+保留児童数		4月1日		7月1日		10月1日		12月1日		1月1日	
令和4年度	4月1日	4月1日	7月1日	10月1日	12月1日	1月1日	1月1日	1月1日	1月1日	1月1日	1月1日
保留児童	139	0	304	460	587	657					
待機児童		0									

待機児童・・・認可保育園に入る権利がありながら入れない児童 保留児童・・・特定の園を希望している場合や求職活動を中止している場合等により入れない児童

保育を必要とする方(2号認定3号認定)と市立幼稚園・認定こども園(1号認定)を希望する方の状況

上記から分かるように市立幼稚園は定員割れです。一方、毎年度達成している4月1日の待機児童ゼロは令和4年度も実現しましたが、来年以降も保育への需要は高まると推測されています。【保育需要予測では令和2年度から令和6年度で400人以上の増加】よって、保育の需要と市立幼稚園の需要のアンバランスを解決していく必要があります。

伊丹市教育委員会の考えに変化?【令和4年第5回定例会(12月議会)本会議質問での答弁より】

- 今までは集団の中での育成が重要であることから『複数クラスかつ1クラスあたり20人以上』を伊丹の市立幼稚園方針の根本に置いていました。
- しかし今回の答弁では『個別最適な保育』を実践することと言及されました。
- 「個別最適な保育」は当たり前です。しかしそれを理由に「複数クラスかつ1クラスあたり20人以上」という目的が達成できなければ、この実現に向けて行った市立幼稚園の再編は何だったのかということになります。
- 「複数クラスかつ1クラスあたり20人以上」を変更するならば、明確な社会状況の変化を説明しなければなりません。

今後検討すべき政策は

今後増加していく保育需要の解決ためには、現実として空き定員が発生した市立幼稚園のあり方を考えていかななくてはなりません。一部市立幼稚園の、廃園及び市立または私立での認定こども園や保育園への転換も求められるのではないかと考えます。